

2023年11月15日

各 位

株式会社 北海道銀行

一般社団法人 Agricola の事業拡大に日本政策金融公庫と協調支援
～農業分野におけるSDGsに配慮した設備投資へ融資～

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）と日本政策金融公庫札幌支店 農林水産事業（支店長兼事業統轄 斉藤 千尋）は、一般社団法人 Agricola（代表理事 水野 智大）が取り組むアニマルウェルフェア（※1）への配慮と、生産性向上を両立する鶏舎整備事業に対して協調支援いたしました。この結果、アニマルウェルフェアに配慮された鶏卵を多くの方に届けることができる供給体制が整いましたので、お知らせいたします。

当社が生産する鶏卵は、ストレスのかかりにくい平飼いで、北海道産原料にこだわった餌で飼育された鶏によって生産されています。札幌市内でミシュランガイドの星を獲得したレストランにて使用されるなど、プロの料理人からも高い評価を得ています。当社は、「農業を通じて障がい者就労を支援する」という理念に基づき、現在 17 名の障がい者就労をチカラにして鶏卵を生産しています。昨今消費者の関心が高まっているエシカル消費（※2）へのニーズに応える事業としても注目されます。今回の取組みは、農業分野における下記3で示したSDGsの目標に配慮した経営の優良事例と言えます。

北海道銀行では、引き続き地域の基幹産業である農業分野の支援に取り組むとともに、地域活性化に資する事業者様の意欲的な取り組みに対して、積極的に支援してまいります。

※1 アニマルウェルフェア

「感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた、健康的な暮らしができる飼育方法をめざす畜産のあり方」のことを指します。

※2 エシカル消費

「消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行う」ことを指します。

記

1. 一般社団法人 Agricola（アグリコラ）の概要

事業地	北海道石狩郡当別町金沢 1237-2	創業	2017年4月
事業内容	就労支援事業（養鶏）	売上高	92百万円(2022/12期)

2. ご支援の概要

取組内容	・木造鶏舎（延べ床面積 6,556 m ² ）の建設資金 ・規模拡大に伴う運転資金（飼養羽数 4,200 羽→5,800 羽）
------	---

3. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行 アグリビジネス推進室 松田・寺澤 TEL(011)233-1066
広報CSR室 坂野 TEL(011)233-1005